

＜兵庫民医連家庭医療後期研修プログラム総合診療尼崎コース＞

【はじめに】

兵庫民医連は、4病院、20医科診療所、7歯科診療所に加え、数多くの介護福祉事業所を有し、地域の医療と介護福祉のネットワークをつくってきました。その中心を担う医師については、1980年頃より独自の新卒医師研修受け入れをおこなってきました。そして、新制度による医師臨床研修についても、地域基盤型の特徴を持つ研修受け入れをすすめてきました。家庭医療後期研修総合診療尼崎コースは、都市型診療所と関連する地域病院、介護施設を主なフィールドとして継続的、包括的な医療を提供できる家庭医を養成することを念頭に置いています。

【プログラム名】

兵庫民医連家庭医療後期研修プログラム総合診療尼崎コース

【プログラム運営の基本目的】

1. 地域の人々の健康問題に広くかかわり、住みよい街づくりに貢献する。
2. 社会経済的に弱い立場にある人々の健康を守る。

以上のミッションに共感し、地域の診療所、中小病院で活躍できる家庭医を育成する。

【研修目標】

主な研修地域である尼崎は中規模都市であり、高齢者、とりわけ独居の高齢者が多い地域です。また、生活保護率が高いなど、貧困や雇用といった社会的問題も多数抱えています。地域の健康を作っていくには、医療だけでなくさまざまな社会的観点からの取り組みが必要となります。

尼崎医療生協病院は医療生協という法人組織であり、地域住民が組合員となり出資金を拠出して運営しています。組合員は健康づくりのための学習会や街角健康チェックなどのさまざまな活動を行っており、地域の健康づくりを進めていくリソースとなっています。

都会の医療生協という場においての家庭医療の学習と実践では、医療機関の外に出て地域に目を向ける機会を豊富に持っていると言えます。

1. EBMや予防医療を重視したよく訓練された臨床能力をもち、地域保健医療活動への参加を重視する視点を身につけること。そして、都市部診療所における患者中心の非選択的な外来医療、在宅診療、保健予防活動をバランスよくおこなえる家庭医療専門医に必要な能力を獲得すること。
2. 後輩の身近な指導医として学習者中心の臨床教育を実施できるようになる。また、臨床疫学、行動科学、地域指向性プライマリ・ケアに関する実践の基礎的能力を獲得し、地域の健康問題に対して科学的な視点でアプローチする。

3. 生涯学習者として自己決定型学習を実施できる。常にアップ・トゥ・デイトな情報にアクセスでき、EBMを実施しつつ、反省的実践家を志向できる。
4. 仲間として常に協同で学び、チームの一員としてその責任と役割を果たすことができる。
5. 地域の人々との様々な協同をすすめ、地域の人々と育ち合うことに生きがいを感じることができる。

【各ローテーション先で学べる内容や特色】

- * 領域別研修その他で在宅ターミナルケアを意識した緩和ケア研修は3ヶ月の必須とします。
- * 領域別研修その他でリハビリ研修（急性期、回復期、在宅）はオプションですが、高齢者ケアに必須と考えています。
- * 2年次に3年次で研修を行う総合診療専門研修Ⅰへのワンデイバック（在宅診療中心）を行います。
- * 総合診療専門研修Ⅰでは学校保健活動を学べるよう調整を行います。
- * 総合診療専門研修Ⅰの登録施設の生協支部は、目標を持って医師研修に関わります。
- * 診療所所長は診療所研修の現場指導の責任を負いますが、プログラム責任者や家庭医療指導医と定期的会議をもち研修内容につき情報を交換します。
- また、研修医は、毎週1単位、尼崎医療生協病院でのカンファレンスへの参加を保証し、研修状況の確認、研修指導をその時間を利用して行います。
- また月1回の家庭医療振り返り会議でも、研修のサポートを行います。
- 研修上で必要な調整は、指導医や研修担当事務が、当該診療所所長や事務長と行います。
- * 領域別研修その他は、整形外科、皮膚科、耳鼻科、眼科など、希望を聞きつつ対応します。
- * 研修医の経験に応じて選択科目や各研修期間の調整を行います。

【研修対象、期間、定員】

対象者：初期臨床研修修了者（修了直後でなくても良い）

期間：3年間

定員：2名

【研修施設】

1. 総合診療専門研修Ⅰ
良元診療所 * 宝塚市
2. 総合診療専門研修Ⅱ（病床数、指導医氏名）
尼崎医療生協病院（199床、東一・高松典子・中田均） * 尼崎市南武庫之荘
東神戸病院（166床、高島典宏・藤末衛） * 神戸市東灘区
神戸協同病院（148床、上田耕蔵・松尾直仁・津田清） * 神戸市長田区

✧ 領域別研修（指導医氏名）

<内科>尼崎医療生協病院（中田 均）、耳原総合病院（松田圭市）

<小児科>尼崎医療生協病院（富永弘久）

<救急科>耳原総合病院（瀬恒曜子）

✧ 領域別研修その他（指導医氏名）

<一般外科>東神戸病院（菅本常夫）

<整形外科>尼崎医療生協病院（大澤芳清）

<産婦人科>尼崎医療生協病院（衣笠万里）

<皮膚科> 尼崎医療生協病院（玉置昭治）

<泌尿器科>神戸協同病院（小山泰樹）

<放射線科>尼崎医療生協病院（林 昌彦）

<リハビリ>東神戸病院（高島典宏）

<緩和ケア科>尼崎医療生協病院（担当医）、東神戸病院（担当医）

【モデルとなるローテーション例】

1年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	総合診 II（尼崎医療生協病院、東神戸病院、神戸協同病院より選択）											
2年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	領域別・内科（6ヶ月）、領域別・救急科（3ヶ月）、領域別・小児科（3ヶ月）											
3年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	領域別その他（緩和ケア、リハビリなど）（6ヶ月）、総合診 I（良元診療所）（6ヶ月）											

【指導体制】

指導の充実も大きな特徴です。プログラム全体で、日本プライマリ・ケア学会指導医 3 名が主な指導にあたります。外部家庭医の招聘による研修指導も適時行えるよう年間計画を立てています。

【研修評価】

1. 自己評価および指導医、他職種、地域の人々からの多面的な評価を行います。
 - 「ポートフォリオ」「セルフ・アセスメント用紙」による自己評価
 - 研修レポート、「セルフ・アセスメント用紙」による相互評価
 - 学会発表、論文による評価
 - 指定診療所における生協組合員との交流を通じての評価
2. 各ターム終了時における研修到達(アウトカム)の評価
3. 全研修期間修了時における総合評価

【研修支援】

研修評価とは別に、プログラムおよび施設管理者とは関係のないメンターを設定し研修医の援助を定期的に行います（近畿の民医連・医療生活協同組合のネットワークもしくは外部の医学教育者に依頼）。

【研修修了後の進路】

- 研修医本人の希望や適性に応じ、兵庫民医連医師委員会が対応します。
- 兵庫民医連でスタッフ医師として就職することを希望される場合は、兵庫民医連理事会での討議を経て所属法人を決定する。

【研修プログラム責任者、指導医】

研修プログラム責任者：東 一（尼崎医療生協病院・内科部長）

指導医：脇野耕一（良元診療所・所長）

高松典子（尼崎医療生協病院・内科）、中田 均（尼崎医療生協病院・内科）

【お問合せ先】

尼崎医療生協病院・医局研修担当事務：池田進一

Tel : 06-6436-1701 E-Mail : kensyuu-dr.room@amagasaki.coop